

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年7月26日  
派遣決定番号

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	江別市	代表者名	市長 三好昇		
担当者部署	企画政策部	連絡先電話番号	011+-381-1009		
担当者役職	課長	担当者氏名	小関高人	連絡先E-mail	
住所	067-8674 北海道江別市高砂町6番地				

#### 1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	山形 巧哉
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	行政の事情に寄り添った状態から課題を一緒に整理してくれたので、無理なく理解が深まった。
アドバイザーへの要望事項	特になし

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年7月23日	10時00分	12時00分		120
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			

### 4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	-----------------------------------------

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	3人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	1) 情報発信手法のように時代の変化速度が速いものについては、エビデンスの確保が難しく、導入が遅れることで結果として時代遅れになりがち。小回りが利く進め方の工夫が必用。 2) LINE公式アカウントを取得したが、カスタマイズするための委託発注する際の仕様を設計することが難しい。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	1) 前例やエビデンスが不足がちな新しい情報発信手法の導入にあたり、行政内部および議会や市民に対し、一定程度の合理的な説明を可能な状態にしたい。 2) LINE公式アカウントについて、当面の基本操作のコツを覚えたい。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	1) 組織内で共有する情報・技術と、業務委託で外出するのが適切なものがあり、新しい仕組みを導入する際には、線引きの仕方が肝要。モンキーテストで想定外の課題が見つかる場合があるので、これまでの行政の進め方に固執せずにアジャイル型を意識すると良いことなど。 2) LINE利用者の利便性を確保する初期設定のコツ。無償提供のソースコードを利用する際には地場ベンダーではなく提供元と契約するのが肝要であることなど。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	1) 完成形に対して予算措置するという考え方ではなく、進化する過程に投資をするという観点で、対外的説明が可能になることが理解できた。 2) LINEの自治体利用に関するノウハウを吸収することができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

